



新たなる歴史に向かって 創立 100 周年を記念して

会長 S11 連川 悠一



いよいよ、記念すべき年の幕開けとなりましたが、会員の皆様に於かれましては、如何に感ぜられてお過ごしでしょうか？

昨、2010 年は、今年の序曲として、我、母校・九州学院が大活躍した年でありました。高校野球・夏の甲子園ベストエイトへの進出、秋の全日本剣道選手権では、2 連覇がかかっていた内村良一君 (S.51) 決勝で同じ熊本出身の高鍋君に惜敗したものの準優勝、暮れの高校駅伝では 3 位入賞の大健闘等々、私の戴いた方々からの年賀状には九学の健闘を称える数多くの称賛言葉を戴き、誇らしい気持ちで一杯でした。そして、2011 年が始まりました。中近東の内乱、ニュージーランドの大地震、そして、日本では 3 月 11 日東日本大震災。犠牲になられた方々のお悔やみの言葉も知りません。被災者の方々の心が癒され、一日も早く、地域の復興が緒に着きますように。3 月 12 日九州新幹線の全面開通による、陸路での東京ー熊本間 飛躍的的時間的短縮、3 月末には東京スカイツリーの電波塔高さ世界一到達など明るいニュースもあります。日本は、大災害を克服し、日ならずして、国力を回復出来るものと信じます。

肝心の九学関係では、開校 100 周年を迎えて着々とその記念事業の準備が進められている中で、春の高校野球選抜大会に本学が九州勢 4 校の中選ばれて、出場し、緒戦では、まさに劇的な勝利を収めました。

8 月には記念体育館が完成とのこと、これは皆さんの一人一人の募金活動によるものです。そこで、東京九学会としても、何らかの記念品をと、役員の方々と話をしていましたところ、1 月の幹事会で高濱英俊氏 (S.28) の制作によるモニュメントを贈ってはその、意見が出て賛同されました。もとより、高濱氏には技術料は無償にてお願いしましたが、原材料費は掛かりますので、東京九学会の皆様方の暖かいご支援をお願いいたします。この記念品は記念体育館の何処かに置いていただくよう本学にお願いする所存です。

さて、100 周年記念式典は 11 月 18 日 (金) に開催

されるとのことです。東京の会員の方々も大勢出席されることでしょう。

我々は、100 周年という記念すべき年に遭遇しました。母校・九州学院が新たなる飛躍の歴史を創る事を切望して止みません。

7 月 2 日 (土) 開催予定の東京九学会総会も、今年例年にまして、より多くの会員の参加を切に期待するところです。

「新たなる歴史に向かって」大いに盛り上がりようではありませんか？宜しく、おねがいします。

この稿を書こうとしていた時、GOLF のアメリカ女子ツアーで、有村智恵さん (J.51) が優勝する勢いでした。100 周年に華を添える事になるかと期待しました。(結果は惜しくも 2 位でした…残念)

九州学院創立百周年事業について

同窓会参与 S4 小崎 義昭

本年 2011 (平成 23) 年は母校、九州学院が創立百周年の栄えある記念すべき年を迎えます。

この記念の年に学院では次のような記念事業を計画し、同窓の皆様にも事業達成のためご協力をお願いしているところです。既に数多くの同窓の皆様のご賛同を頂いております。未だご失念の方々には、ぜひともご理解頂きご協力を改めてお願い申し上げます。

《学院の主な事業》

- ・記念体育館の建設 起工 2 月 竣工 8 月
- ・歴史資料室設置
- ・百周年記念史発行
- ・育英奨学基金の充実
- ・2 号館のリニューアル 2010 年 8 月竣工

《学院の主なる行事》

- ・九州学院のルーツを訪ねて
アメリカへの旅 8 月 (日程未定)
- ・招待試合 (時期、種目を検討中)
- ・記念礼拝 11 月 17 日 (チャペル)
- ・記念式典 *11 月 18 日 (県立劇場)
- ・記念講演 *11 月 18 日 ()
- ・記念祝賀会 *11 月 18 日 (ホテルキャッスル)
- ・生徒・同窓生の市中パレード 11 月 (日程未定)
- ・九学歴史展 11 月 18 ~ 19 日 (予定)

以上が学院の主な事業・行事です。

注 * 印は定員の関係でご案内の方に限らせて頂きます。

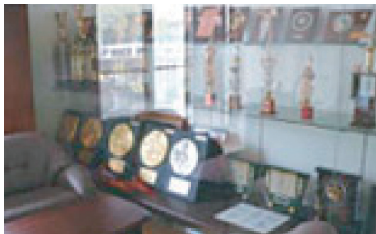
《同窓会の主な事業》

- ・記念大同窓会
- ・マッスルミュージカル公演 12月14日
- ・同窓会記念講演会 12月17日(予定)

等が計画されております。



記念体育館は鉄筋コンクリートの2階建て、4号館とチャペルの間、旧本館の位置に建設されます。1階に空手道場、ボクシング練習場、トレーニングルーム、部室、2階にアリーナバスケットコート(内部にバレー、バドミントンなど)を配してあります。



歴史資料室は学院の創立当時の資料など、百年の栄えある輝かしい歴史を物語るものが展示されます。

2号館のリニューアル～電車通りの西門を入った右手の新装なった壁面に十字架が設置されました。プロムナード正面1号館と2号館の連絡通路にはKGマークの校章を



新設しました。育英奨学基金の充実～創立70周年を記念して創設された育英奨学制度は多くの有為な生徒たちを送り出

していますが、さらなる充実拡充をして将来にわたり基金の経済的基盤の安定を図ります。

百周年記念史～この百年の輝かしい歴史を記録します。募金活動につきましてはすでに趣意書を送りしていますように、以上の事業にご協力をお願いしているところです。

現在、学年を主体とした、「学年世話人」を決めて頂き、同窓の皆様をお願いしているところです。

百年に一度しか廻って来ない記念すべき年に巡り合わせられる喜びをかみしめ、卒業生として共に祝いたいものです。重ねて皆様のご協力をお願い申し上げます。

尚、ご寄付を頂いた皆様のご氏名は、新しく建設される記念体育館の銘板に記録して、長く保存することになっております。

古田昌幸君の思い出

S4 森田 茂

去る2010年1月12日、九州学院時代の同級生だった古田昌幸君が、野球人最高の名誉である野球殿堂入りを果たした。ご承知長嶋茂雄氏を始め、錚々たるプロ選手達が殿堂入りを果たしている中で、アマチュア野球人として3人目と言う大偉業である。



記念DVDは九州学院校庭風景で始まる

残念なのは、彼が病魔の為1999年に65歳で天国に召されていたことである。

思い起こせば、彼が亡くなる3ヶ月ほど前だったと思うが、在京の九州学院の同級会を九段下に在るグランドパレスホテルで行ったが、その案内状を彼のところにも出していたので、彼から電話があり「今、体調が悪いので欠席させて貰いたい。皆によりよく伝えて欲しい」と言うことだった。その後、これも故人となった3年後輩の松村幸次君から、古田君の逝去の知らせを受け、池袋に在るお寺で執り行われた告別式に行ったことを記憶している。当時私も未だ在職中だったので、彼の余りにも早い昇天に、驚きと共に、人生の果敢なさを痛感したものであった。

私は彼が九州学院卒業後立教大学に進み、当時六大学野球の監督で最も厳しい砂押監督のもと、名内野手として頭角を現し、長嶋茂雄氏や本屋敷氏などと立教大学野球部の黄金時代を築いたことや、社会

Congratulating Kyushu Gakuin Centennial

昔イエスの 播きたまいし

祝
九州学院 創立100周年

100年の伝統 新たなステージへ!

九州学院同窓会

- 会長 松村敏人 (S6回卒)
- 副会長 浅川牧夫 (S12回卒)
- 副会長 岡嶋勇治 (S14回卒)

祝
九州学院 創立100周年

一粒の麦、地に落ちて百倍の実を結ぶ

九州学院同窓会

- 副会長 緒方 徹 (S18回卒)
- 副会長 堤 公一 (S18回卒)
- 副会長 山崎恒雄 (S21回卒)

人野球の熊谷組で、またまた大活躍していたことは報道で知り、何時も誇りに思っていた。

去る2010年11月25日に「故古田昌幸氏の野球殿堂入りを祝う会」の案内を受け、九州学院当時、古田君が野球部に入る前に、彼が私と草野球をやっていたと言うことから、その会の中で中学の頃の話をして欲しいと言うことになり、スピーチすることになった。もう63～4年も前の話で、余り記憶も確かではないが、確かに彼の守備は華麗だったし、打撃も大きいものは打たないが、左右に打ち分けるセンスの良さを持っていたことは事実である。

私が九州学院中学校に入学したのは、終戦の翌年で、日本は未だ復興も始まっていなかった。その頃中学校の5年生には、予科連帰りの先輩などが居たりして、食料事情は非常に悪かったが、色んなスポーツが比較的早く始まり、進駐米軍の関係から、野球が我々にとって一番身近なスポーツだった。確か中学2年生の時から中学野球大会が始まり、水前寺球場に観に行った記憶がある。その頃、私は遊びの一つとして野球を始めた。勿論皮のグローブなど無く、自分達で布でグローブやファーストミットやキャッチャーミットを作り、ボールも芯にビー玉を入れ、その周りをボールの大きさまで布切れで包み、タコ糸でぐるぐる縛った後、厚手の布で硬球みたいに縫い合わせて作った。バットも木を削って作ったものだ。初めの頃は、ベースは土の上に書いたもので、一塁と三塁の三角ベースでやっていた。その後3年生の頃から軟球やズックで作られたグローブやバットが買えるようになり、軟式野球が始まった。

私の家は北水前寺に在り、豊肥線の水前寺駅の前を通って通学していたこともあり、クラスは別であったが、古田君の家が水前寺駅前通りで果物店をやっていた関係で、時々顔を合わせていた。中学2年の頃から、通学で一緒の仲間とチームをつくり、草野球の試合を広場や小学校の校庭でやっていた。その頃、我々のチームでピッチャーをやっていた南君が、高校になり野球部のピッチャーとなった。

古田君の名前は昌幸(まさゆき)だが、私は昌の字をショウと読むことから、彼をショウちゃんと呼ん

でいた。私は小柄だったが、彼も小柄な方で、中学3年の頃から我々のチームに参加してきた。私は始めからセカンドで打順は2番か9番、彼はショートで打順は1番だった。とにかく彼はボールに対する反応が速く、守備範囲が抜群に広がった。その点セカンドを守る私は本当に楽だった。

彼は、打撃も引っ張るだけの我々と違い、大きいものは打たないものの、インコーナーは引っ張り、アウトコーナーは右に流す天性の器用さを持っていた。元北警察署の横にあったグラウンドで良く試合をしたものだ。高校1年の秋から彼は野球部に入り、本格的に硬式野球に取り組み、その天性のセンスを発揮することになる。動きの素早さとは裏腹に、彼は地味で寡黙だった。野球部に入ってから身長もどんどん伸びていったが、野球の選手としては、大きい方ではなかったと思う。立教大学時代でも六大学で指折りの二塁手だったが、プロの誘いを断って社会人野球に進んだのも、そこらに要因があったのではないかと考えているが、本人に確認したことはない。しかし社会人野球の頂点に登りつめたのだから、彼は最良の選択をしたことになる。

彼とは九州学院卒業後一度も会えなかったのは残念であったが、私も喜寿を迎えた昨今、いずれは天国に召されることは間違いないので、是非会えなかった年月のことを語り合いたいものだ。会える時を楽しみにしている。

九州学院経済交流会の紹介

九州学院経済交流会副会長 S30 青山 正志

100周年の節目を迎えるにあたり、母校の教育活動に協力して学校発展へ寄与するとともに、会員各位の相互交流と情報交換を目的に発足した「九州学院経済交流会」。経済事業に携わる九州学院高校又は九州学院中学校の卒業生で、経済活動への意欲がある会社経営者・役員が集い、平成21年初夏、発足準備委員会が設けられました。

学校からは同窓会参与の小崎義昭先生、緒方徹教頭先生などの方々からアドバイスを頂き、会の中心と成ってお世話いただく発起人候補を選定、発起人

祝 九州学院創立100周年

いとも小さき 生命のたね



学院のモニュメント その1

「門をたたきなさい
そうすれば開かれる」

橋本恵史氏 S23 作

九州学院同窓会 参与

小崎義昭 (S4回)

祝 九州学院創立百周年 キャンパスに描こう未来への夢

創立百周年記念事業募金委員長

土山 研三 (S8回)

会開催後、平成 21 年 11 月第一回総会を経て設立されました。

役員は以下の通りです。

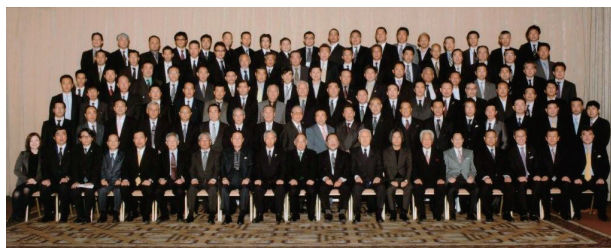
- 会長職
 (株)鶴屋百貨店
 代表取締役社長 本田 一 S10 回
- 副会長職 四名
 (株)お菓子の香梅
 代表取締役会長 副島 隆 S13 回
 医療法人社団愛育会 福田病院
 理事長 福田 稠 S18 回
 (株)藤本物産
 代表取締役社長 藤本 健介 S22 回
 (株)雇用促進事業会 週刊求人案内
 専務取締役 青山 正志 S30 回
- 専務理事職
 熊本駅前看護リハビリテーション学院
 学校長 中村 悟 S17 回
- 専務理事代行職
 (株)大住工芸 光助
 代表取締役社長 大住 裕司 S22 回
- 会計監事職 二名
 (株)熊本日日新聞社
 常務取締役 荒牧 邦三 S18 回
 (株)木村
 専務取締役 木村 嘉宏 S30 回

顧問職 11 名は卒業順ですと元熊本市議会議長の(有)中央ビルメンテナンス代表取締役会長 島永芳孝様(S3 回)から福岡商工会議所会頭で(九電工 代表取締役会長の河部浩幸様(S10 回)まで、錚々たるメンバーの方々です。

学校からは特別顧問として内村公春院長先生、長岡立一郎理事長、そして特別顧問補佐として、緒方徹教頭先生に入会頂いております。

上記の役員・顧問と理事職 19 名を含め、総勢 166 名の会員で構成されており、本田会長のご厚意で鶴屋百貨店内に事務局を設けて運営致しております。

総会や新年会では講師をお招きしてご講演頂いております。平成 21 年 11 月第一回目総会での講師は



平成21年11月13日 第1回九州学院経済交流会総会
 於 熊本ホテルキャスル

当経済交流会理事、世界でご活躍のファッションデザイナー 田山淳朗先生(S25 回)。演題を『ファッション産業の未来』としてご講演頂きました。平成 22 年 1 月の新年会では当時熊本市経済振興局長の谷口博通様(S20 回)より演題『熊本市の経済について』、平成 22 年 6 月の総会では、当交流会副会長を務める福田病院理事長 福田 稠先生より演題『日本の医療の現状と課題』としてご講演を賜りました。尚、福田理事長は当時熊本県医師会会長に就任なさったときで、より判り易く熊本県の医療現場における現状説明を頂きました。平成 23 年 1 月の新年会では味千ラーメンでおなじみの重光産業株式会社代表取締役社長 重光克昭様より演題『熊本から世界ブランドへ』としてご講演頂き、香港上場の話や美少年酒造、桂花ラーメンを支援なさった話など経済人にとって大変感銘を受けました。

また、会員交流としてスポーツレクリエーションも行っております。松橋町の「あつまるレークカントリークラブ」にてゴルフコンペを行う際には参加の各企業から景品協賛頂いておりますし、九州学院中学校卒業の有村智恵プロからも毎回ゴルフクラブやデジカメ、プリンターなど豪華景品を提供頂いております。

今後の経済交流会の方向性としましては、学校側への取り組みとして、九州学院中学校で行われる職業体験のナイスライ受け入れ先企業になったり、高校生に企業トップからのメッセージを発信したり、東京 KG 会でも『熊本の就職事情』などお話をさせていただきましたが、大学や進学後の就職合同面談会など色々な企画で、学校や卒業生に経済人として寄与できるよう行動していこうと考えております。

Congratulating Kyushu Gakuin Centennial

芽生え育ちて 地の果まで

祝 九州学院創立100周年

東京九学会
 顧問 森田 茂 (S4回卒)

〒332-0017 川口市栄町2-1-18-801
 Tel:048-250-6021 Fax:048-256-2878

東京九学会

会長 連川 悠一

(S11回卒)

また、他校の経済人会との交流も深める計画があります。同窓会と別に経済会が在るのは済々黌、熊本商業、千原台、熊本学園大学付属などがあり、学校の垣根を越えた経済人の交流によって人脈が広がり、ビジネスチャンスが生まれます。

地元熊本で発足した「九州学院経済交流会」ですが、福岡市の経済会からも入会頂きました。今後は福岡のみならず皆様の東京でも会が出来ると良いなと思います。

国家元首の車

J4 牧野 克彦

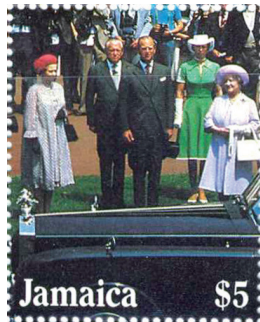
小生小5の時にS4の小崎義昭先輩に教えられて切手収集を始めて以来65年間続けている。世界の自動車切手1.2万枚を集めたが、その中で国家元首の車を切手で解説しよう。

主要60カ国の国家元首の車は、ドイツのメルセデスベンツが26カ国、BMWが14カ国、ロールスロイスが8カ国、レクサスが8カ国、アウディが5カ国、キャデラック等3カ国でありドイツ車が圧倒的に多い。歴史が浅いにも関わらずトヨタのレクサスが健闘している。

アメリカの軍事的・経済的プレゼンスが大きいにも関わらずキャデラックやリンカーンは僅か3台しか使われていない。各国の元首の保安当局は故障が少なく元首の行動予定に齟齬を来さない車を選んだ結果ドイツ車や日本車となっているのであろう。尚殆どの車は防弾仕様となっている。

イギリス

初期にはデムラーを使っていたが途中からロールスロイスに替え今日に至っている。右はジャマイカ・エリザベス女王夫妻とロールスロイスである。



ドイツ

ヒトラー時代からメルセデスベンツを使用してきた。ヒトラーも1934年から

グロッサーベンツに乗っていたが、戦争の混乱で1台も無くなり戦後日本の皇室が持っていた予備車の1台をダイムラー社に寄贈しベンツ博物館に展示されている。右上は北朝鮮のグロッサー・ベンツである。



日本



日本は日露戦争後は英国のダイムラーやロールスロイスを御料車に使い、第2次世界大戦前の3国同盟時代はドイツのメルセデスベンツを使ってきた。大戦後は米国のキャデラックに切り替えた。

左上はマナマ・エリザベス女王ご夫妻を迎える昭和天皇・ロールスロイス。

1970年以降はトヨタと日産が天皇陛下専用車を交代で製作し納入している。尚日本の総理大臣はレクサスの最高級車を使っている。右上は日本の皇太子ご成婚ロールスロイスである。

フランス

フランスの自動車メーカーは大衆車メーカーばかりとなり大統領用の高級車メーカーが無く、ロールスロイスを使用している。

右の切手は第2次大戦終了後のイギリスのチャーチル首相とフランスのドゴール将軍が車上に同席している映像だが車は分からない。



祝 九州学院創立100周年

その枝を張る 樹とはなりぬ



建設業許可 神奈川県知事許可(般16)第50909号

株式会社 **タイセイビルド**

代表取締役 **齊藤 征一郎 (S12回卒)**
～ 神奈川支部長 ～

土木・建築・リフォーム・店舗・設計施工・建物総合保守管理
冷暖房・冷蔵庫・厨房設備・設計施工・メンテナンス
〒233-0016 横浜市港南区下永谷5丁目71番12号
電話 **045-823-8644**(代) FAX 045-826-2197

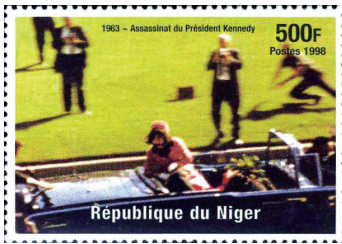


多摩八十八ヶ所第一番札所
真言宗豊山派

安養寺

住職 島本誠永 (S30回卒)
〒180-0002

東京都武蔵野市吉祥寺東町1-1-21



アメリカ

大統領の個人的な希望を入れて車が決められていて、キャデラックか、リンカーンが使われて来た。

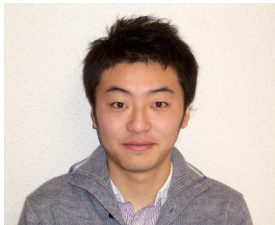
1963年ダラス市内をパレード中に狙撃され暗殺されたケネディ大統領をジャクリヌ夫人が抱えている映像がニジュール・ケネディ大統領切手となったフォード・リンカーン。

ソ連・中国

各々自国設計の最高級車を持っていたが性能は今一步で生産を中止している。

趣味の話

S55 山崎 雄三



皆様、はじめまして。
S55 回卒の山崎雄三と申します。

早いもので私が九州学院を卒業して8年の月日が過ぎました。

少し自己紹介をさせていただきますと、私は高校3年間野球部に所属していました。高校2年からは生徒会長も務めさせて頂き、体育祭や文化祭等の行事では準備に四苦八苦しながら野球グラウンドに通っていました。在学中は部活・勉強の両立が苦手な生徒で、赤点を取っては頭を五厘刈りにしたのを覚えています。

卒業してから大学への進学、就職を経て7年間、東京で生活をしていました。(2010年4月より熊本にて生活しております。)

東京生活の間にも全国ニュースで度々九州学院の部活動における活躍が放送されることがあり、後輩の活躍に胸躍らせ、周囲に「俺の出身校ばい！」と自慢していました。

そんな私に、今回の「趣味の話」を寄稿するお話を頂き、不慣れではありますが書かせて頂くことになりました。読み辛い点もあるかと思いますが、ご

了承ください。

私にはいくつかの趣味があります。とは言っても、どれもあくまで「趣味」の範疇なので、皆様に胸を張って紹介できるものではないのですが・・・

大学から始めた趣味に、フットサルがあります。それまで野球しかしたことのなかった私にとって、ボールを足で扱う運動の楽しさは新鮮なもので、次第にのめり込み、チームを作って試合や練習を楽しんでいました。

その他では、社会人になって始めた趣味に、バイクでのレースがあります。それまでもバイクに乗りツーリングなどは楽しんでいたのですが、ひよんな事から知人に誘われ足を運んだサーキットで「バイクの楽しさ」を再認識。最初は公道では味わえないスピード感やスリルがたまらなく楽しく、ただただ我流で運転していたのですが、レース前の練習走行でクラッシュ。病院送りとなり、バイクも破損。そこからいかにリスクを減らしながらタイムを上げることが出来るのかを考え運転するようになりました。

レースでは「コケないヤツが速い」という話があります。これは、どんなに速く走ってもコケたら終わり。コケずに完走できた方が結果、速い。という意味です。この考え方を念頭に置くようになり、公道において、車・歩行者にとっても安全な運転を心がけるようになり、現在まで事故なく過ごせています。

ここまでフットサル・バイクと、私の趣味を紹介させて頂きましたが、一番長く続けている趣味は小学生の頃からやっている野球です。

大学生の頃は、サークル活動に加えて児童養護施設の子供達に野球を教えに行く活動もしていました。そこで、様々な事情で施設に預けられている子供達と野球を通して交流できたことで「一生懸命になれるものがある」ということの大切さを学び、色々と考えさせられました。決して恵まれたとは言えない環境でも、野球に必死に取り組んでいる子供達と接し、その生き生きとした目に、私の方がエネルギーをもらったことを今でも覚えています。

現在は社会人の仲間の集まりで草野球を楽しんでおり、有意義な休日を過ごせています。試合後に仲間達と飲みながらその日の出来をあれこれ

Congratulating Kyushu Gakuin Centennial

歴史の流れ 旧きものを



旭光 有限会社

代表取締役 緒方 榮喜 (S8回卒)

〒273-0041 千葉県船橋市旭町3-14-1
TEL (047) 439-5669 FAX (047) 439-5686
E-mail: kyokuko-86f-ogt@hkg.odn.ne.jp

東京九学会

幹事長

山本 直行

(S15回卒)

言いながら反省するのも楽しみの一つです。

ここまで色々書かせて頂きましたが、趣味があるおかげで充実した生活を送れていると感じています。今になって考えると、積極的に趣味活動に取り組めるのも、九州学院で「挑戦」することの大切さを学ぶことが出来たからではないかと思えます。

挑戦することを良しとする校風が、いつの間にか私自身にも染みついていたのかもしれない。何気なく過ごしていた高校生活が、今の生活に繋がって、人生を豊かなものにしてきている。そう思うと、九州学院には感謝の気持ちでいっぱいです。

九学魂を忘れずに、今後も趣味を通して多くの人と出会い、皆で楽しい時間を過ごせたらと思う毎日です。

KG 会に感謝

S59 野田 メイ子

私が九州学院高校を卒業してから、早いもので4年が経とうとしています。ちょうど4年前の頃は、東京での生活に期待を膨らませていたのと同時に、両親や熊本に残る友人たちと別れることを日に日に寂しく思い、複雑な心境だったのを今でも覚えています。

大学に入学し、すぐに新しい友人たちができたおかげで私の不安はすぐに取り除かれましたが、その一方で、九学の人たちと連絡を取ることは少なくなり、卒業して離れてしまったら所詮こんなものかと心のなかで思っていました。

そんなときに、KG会からのお知らせが届き、友人と一緒に参加してみることにしました。部活には入っておらず、顔見知りの先輩や後輩も少ない私にとって、正直「つまらないなあ…」というのがKG会に対する最初の印象でしたが、そこはさすが九学です。自分より何歳も歳上の先輩方と、九学ならではの共通話題で盛り上がり、帰る頃には「また次回も参加したい!」という気持ちに変わっていました。それからは、毎回KG会に参加するようになり、私のことを覚えていてくれる方も増え、いつしか参加する側から、KG会のお手伝いをする側にまわっていました。KG会では同級生と会える楽しみ



第3回秋のKG会 手前左が筆者

の他に、各界でご活躍される先輩方からお話を伺うことができたり、就職活動の際には親身になってご相談にのっていただいたりと、私にとって非常にプラスになる場面がたくさんありました。また、KG会には様々なイベントもあり、普段なかなか経験できないような貴重な時間を過ごすことができました。

全国には数多くの学校が存在していますが、九学のように卒業後も、性別や世代を越えて一丸となれる学校は大変稀であると思います。これから九学を卒業される方、およびまだKG会に参加したことがない方。本文をご覧になって、少しでもKG会に興味を持っていただければ幸いです。そして、機会がありましたら是非、一度は参加されてみて下さい。

最後に、KG会にてお世話になった皆様に心より感謝を申し上げます。そして、今後も何卒よろしくお願い致します。

雪深い東北の地で「敬天愛人」に逢う

S7 石井 勢祐

山形県庄内、日本海に面し酒田、鶴岡両市を核とした人口35万人 稲作、農業、工業、港湾事業を主体とする都市です。この地で事業を行う為赴任しました。そこで「敬天愛人」「敬天」を表題にした、地域情報紙と機関紙に出逢ったのです。

熊本育ちの私には遠方の地、意外性と大いに親近感を抱いたのはいうまでもありません。間もなく歴史的背景を知ることになります。庄内藩は徳川幕府

祝 九州学院創立100周年

返らぬ過去へ 押しやる間に

九學東京若手の会
KG会

URL : <http://www.kg-kai.jp/>

九學東京若手の会 KG会 代表 島本 誠(S30) 事務局 高森(S32)/岡本(S34)

〒168-0062 東京都杉並区方南1-8-17 株式会社オカモト印刷内
TEL : 090-5792-0100 E-mail : s32takamori@kg-kai.jp

メール用QRコード
連絡はこちらから



翻 訳

竹熊 誠 (S15回卒)

TAKEKUMA, Makoto

〒261-0013 千葉市美浜区打瀬3-1-3 C-711

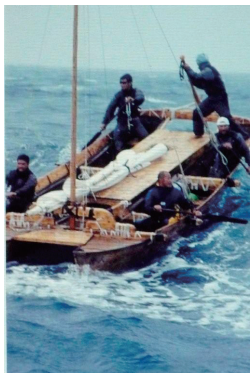
TEL・FAX (043) 299-7503

E-mail: mtakekuma@ss.em-net.ne.jp

の江戸守護職でした。従って戊辰戦争時、薩長連合軍に攻め立てられて敗れます。総大将だった西郷隆盛は敗北した庄内藩に恥辱を与えることなく、寛大な仕置きを命じます。この西郷の大きな度量に感銘を受けた藩主は多勢の家臣を連れて鹿児島へ西郷隆盛を慕って訪問します。その結果、「敬天愛人」が西郷の精神であることを学びとり、帰郷後は庄内の地に普及させる努力を続け現在に至っているのです。母校の校歌3節は、“神秘に燃ゆる大阿蘇の不断の煙「敬天」の高き心を示さずや 碧波はてなき有明の千尋の海は「愛人」の深き思を堪えずや”と歌います。西郷の敬天は桜島がその姿を現し、錦江湾が、西郷の愛人の心を満たしています。愛人：郷土愛が基本にあり、道は天地自然のもの、愛人即愛民親民、偽政者として思想家としての西郷隆盛の精神でしょう。

自分で自分を監督し、“役に立つ善人となれ”卒業後 50 有余年にして、九州学院で学んだ敬天愛人を復習の機会に出逢いました。

海人 2 号



S14 荒木 傑

私は、本通信第4号で、海人丸 XPEDITION サバニ帆漕と題し、オーシャンスポーツで「自然と人間の共生」を図る N.P.O 法人「アウトリガーカヌークラブジャパン」の活動を紹介し、葉山大浜海岸にアウトリガーカヌーを置く事が出来なくなったのを期に、琉球王朝から使われていた50年前の漁船を改造し、現代機器を一切使わぬ双銅船「海人丸」を作って「沖縄～日南」、「沖縄～日南～愛知」を航海し、船長(荒木汰久治、私の次男)は沖縄宜野座村に移住したことを書きました。今回は、これに次ぐ海人丸2号のことです。

2009年、日南の飲肥杉(樹齢80年～100年)を井上長生夫様(日南で農家民宿 丘の上経営)が私達の

航海趣旨を理解されて寄付して下さいました。そして宜野座村の漢那小学校校庭にて約1年乾燥させ、いよいよこの5月頃から約10mの木造船「海人2号」の建造に取りかかります。これは、糸満の大城清(船大工)さんと主に沖縄の子供達、地域方々のボランティア活動によるものです。一方、この間、厳しく過酷なクルートレーニングを行い、前述の通り、「沖縄」～「中国」までの航海を目指します。そして、子供達に私達の祖先は「海と共に生きた偉大なる古人の「体力」「知力」等を復活させ、次世代に継承することを意図します。今後、宜野座村に土地を購入し、日本で初めての自然のビーチ付のアウトリガーカヌークラブハウスとカフェを自分達で建造して、農園、フルーツ栽培とアヒル、山羊、馬等動物を養い、「自給自足」の生活をする計画です。今迄7年間、土地の購入を依頼していますが、歴史的、社会的諸問題が多く、購入出来ておりません。是非、宜野座村にお知り合いの方が居られれば、ご紹介頂ければ幸いです。どうか、「海人丸船長」荒木汰久治の <http://www.arakitakuji.com//> をご覧下さい。

【編集後記】

3月11日東日本大震災、亡くなられた方を悼み、原発事故の終息と、被災地の一日も早い復興を祈ります。誰しも“この先、日本はどうなっちゃうんだろう”と思っていた28日の甲子園第3試合。九州学院が見せて呉れました。



2回までに6点リードしながら徐々に追いつかれ、遂に同点となり、延長戦も覚悟した9回裏、2アウトからの3塁打に続く果敢な本盗でのサヨナラ勝ち！こういう勝ち方が出来るのは、技量と判断力があってのこと(S6 亀尾君)、そして中盤、相手が優勢になるなか、勝利を信じて耐えに耐えたからでしょう。元気を貰いました。こうした若者の手で、日本の復興も叶うでしょう。今年は、九州学院創立100年の年。“くよくよしててもしょうがない”皆でこの年を祝いましょう。

今号は創立100周年春号です。

S6 尾上、S15 竹熊、S30 高木

祝 九州学院創立100周年

主イエスの建てし 愛の國は 民よりたみへ ひろがりゆく

東京九学会

副幹事長 高森 重視

(S32 回 卒)



We wish OOptions!

株式会社 オカモト印刷

岡本 明(S34回卒)

〒168-0062 東京都杉並区方南1-8-17 Tel 03-5300-0722 Fax 03-5300-0723
web www.oka-p.co.jp